

佐野市の小中学生が市議会（一般質問）を見学・傍聴しました。



学校における社会科教育の二環として、市議会や議会に対する理解と関心を深めることを目的に、12月7日に城東中学校の生徒（25名）が、12月8日に佐野小学校の児童（62名）が市議会を傍聴しました。7日と8日は一般質問が行われており、議員が市政について質問し、市の執行部が答弁するやりとりを真剣に聞いていました。

傍聴者の声

「はじめの市議会見学」



佐野市立佐野小学校6年 白居かなさん

市議会の様子を見学し、佐野市の議員さんたちは、佐野市のためにがんばってくださっているのだなとあらためて感じました。話している内容に「小・中学校」という言葉が何度も出てきました。私たちにすることも真剣に話し合われている姿を見て、とてもうれしかったです。別室で市議会の説明を聞いていて、市民のくらしや市の発展のことを一番に考えてくださっていて、ありがたく感じました。これから佐野市のためにいろいろなことを話合ってくださいなと思います。今回は、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

「市議会の傍聴を通して思ったこと」



佐野市立城東中学校3年 京谷美樹さん

私は今まで、市議会は「自分に理解できないような内容について話し合い、難しい言葉が飛び交っている場所」と想像していました。ところが、実際に傍聴してみると、大雨時における市内の道路の冠水問題や、小中学校の道徳教育等、中学生である私にも理解できる事柄について話し合い、中には聞きながら自分なりの考えをもてるものもありました。私たちの佐野市をより良くしていこうとする、大切な市議会を傍聴できてよかったです。さらによく知るために、今後はテレビ放送等を通じて市議会を視聴していきたいです。

新年号の案内

議会だより新春号を佐野市議会ホームページに掲載しています。



議会だより新春号では全市議会議員の新年の抱負を掲載しており、佐野市議会ホームページで配信しております。ぜひご覧ください。

<http://www.city.sano.lg.jp/gikai>

あとかぎ

長かった厳しい冬も終わりを告げ、待ちわびた春もすぐそこに来ています。蠟梅の花の便りも数多く聞かれる季節となりました。ここに昨年末に行われた12月定例会の内容を報告させていただきます。

いよいよ今月より平成29年度の予算を審議する2月定例会が開かれます。その中で予算審査特別委員会も開かれ、一年間の予算についてあらゆる角度から質疑が行われます。ぜひ傍聴に来ていただき、議員と執行部の緊張あるやりとりを見ていただければ幸いです。

（大川圭吾）

編集委員会

- 委員長 井川 克彦
- 委員 本郷 淳一
- 委員 小暮 博志
- 委員 大川 圭吾
- 委員 鈴木 靖宏

議会事務局

TEL 20-3036
FAX 21-4411

本紙は再生紙を使用しています。